

科 目 名	総合実習		単位数	4 単位		学科・学年	畜産総合		科	2 年	
使用教科書	なし					副教材等					
学 習 目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力と畜産経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。家畜管理実習を通して、勤労意欲とともに動物に対する愛情を注ぐ心を育む。 (1) 家畜を総合的に捉え、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (2) 畜産に関する総合的な 課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う (3) 畜産の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う科目「畜産」の養豚と関連させて学習をすすめる。										
学 習 評 価	○ 次の3つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとつとまり）ごとに下の評価基準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。										
	①知識・技能		専門科目の内容が良く理解され、畜産の各分野に関する総合的な知識と技術を体系的・系統的に理解し、身に付ける ○作業内容について、指示通りにできるか。また次第に熟練した技術を持つことができるか。 ○実習を通して農業の各分野に幅広い見識を身に付けているか。 ○周囲との協調を図り、作業を円滑に進めることができるか。								
	②思考・判断・表現		畜産における総合的な技術の習熟と、経営する学びをとおして課題を発見し、科学的根拠などに基づいて解決する力を養う ○指示された内容について、その内容を把握しきちんと動くことができるか。 ○指示された内容をさらに進化させ、自ら適切な判断をし、実習に展開できるか。 ○作業方法に工夫が見られ、より効果的なやり方で取り組んでいるか。								
	③主体的に取り組む態度		畜産の総合的な知識や技術、経営等について企画力や管理能などを主体的協働的に取り組む態度を養う ○積極的に取り組もうとする姿勢があるか。又、片付けがきちんとできているか。 ○実習ノート記録が期日までに提出されきちんとまとめられているか。 ○実習中に服装の乱れがなく作業態度はよい。								
			評価方法\観点	①	②	③					
		学習状況観察	◎	○	◎	自己評価					
		実習ノート	◎	◎	◎	提出プリント/ノート					
履 修 上 の 注 意	教科内容は実技がほとんどです。正規の時間割に組み込まれた週3時間の総合実習(教科内実習) 3単位と放課後や長期休業中に行う教科外実習（特別実習）の1単位、計4単位で構成されています。無断欠席等には注意してください。また、評価は取り組む姿勢を一番に考えますが、集団の中での作業となります。内容によって熱湯や機械を用いたり、刃物も使用しますので、実習中は特に集中して取り組み、整理整頓や注意事項をよく守るよう心がけてください。毎時実習内容等を実習日誌に記録し提出する。次の項目にも注意を払います。 〔服装・礼儀・協調性・安全衛生意識〕さらに、時間を守ることも重要です。										

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動（ 評 価 方 法 ）
1 学期		豚の特性 飼料作物 繁殖（種付け） 病気と予防 豚肉加工実習 一般管理の実習は年間を通じて行う。	36	・豚の習性を理解させることにより、養豚の基本的飼養管理技術を修得させる。 ・飼料品種の特性の理解 ・発情兆候の理解。 ・健康観察の要点と衛生管理の重要性を知る。 ・各種畜産物加工製品を製造することで肉の加工特性を理解する。また、身をもって体験することで食品安全衛生の重要性を理解し、食品加工に携わる者としての心構えを身につける。 ・教科との関連性を考察しながら作業に臨む ・管理と技術の相互関係体験的に学ぶ姿勢を育む	○評価は以下の項目で評価します。 【学習状況観察】 【実習ノート提出】 なお、総合実習は教科内の実習と教科外の実習(放課後当番実習・長期休業中の実習等)で構成されています。教科外実習については出席等で教科内実習と異なる規定がありますので下の項目を見てください。
2 学期		繁殖(分娩保育)および子豚期の管理 肥育 飼料作物 飼料作物 豚肉加工実習 一般管理の実習は年間を通じて行う。	40	・分娩助産方法の習得。離乳時期の選定ができる。 ・肥育過程に応じた飼料給与ができるようにする。 ・緑餌作物の繁殖豚への利用価値を知る。 ・豚肉製造を通し、肉処理技能の習得と安全衛生を考える ・教科との関連性を考察しながら作業に臨む ・管理と技術の相互関係体験的に学ぶ姿勢を育む	子豚の発育調査は科目「畜産」と同時進行で行う。 ○評価は以下の項目で評価します。 【学習状況観察】 【実習ノート提出】
3 学期		養豚一般管理実習 一般管理の実習は年間を通じて行う。	39	・分娩房の消毒準備。去勢。 ・離乳。飼料の切替 ・体重測定。 ・飼料要求率の算出 ・教科との関連性を考察しながら作業に臨む ・管理と技術の相互関係体験的に学ぶ姿勢を育む	○評価は以下の項目で評価します。 【学習状況観察】 【実習ノート提出】
教科外実習	年間	1．放課後当番実習 2．長期休業中の実習(夏季休業中)畜舎管理等(冬季休業中)畜舎一斉清掃等(春季休業中))畜舎管理等 *上記に示した実習内容のほかに、年間数回、近隣の畜産農家や関係施設に出向いてのインターンシップ事業(就業体験)が行われる	25	・教科内実習では行えない実習内容を多く取り入れている ・終日実習や校外での活動も多く、実際の現場での就業体験による技術力の向上やコミュニケーション能力の向上を一つの目標に行う	評価基準は、教科内実習と同様です。長期休業中の実習開始時刻等は、事前に通知するので時間に遅れないようにしてください。 なお、教科外の実習(放課後当番実習・長期休業中の実習等)の出席は100%で評価を行います。<u>欠席する場合、年度内に代替日に出席しないと未評価となるので注意してください。</u>
			140		

—



